

第3次船橋市総合計画 骨子案<序論>
補足資料

令和元年7月31日

船橋市

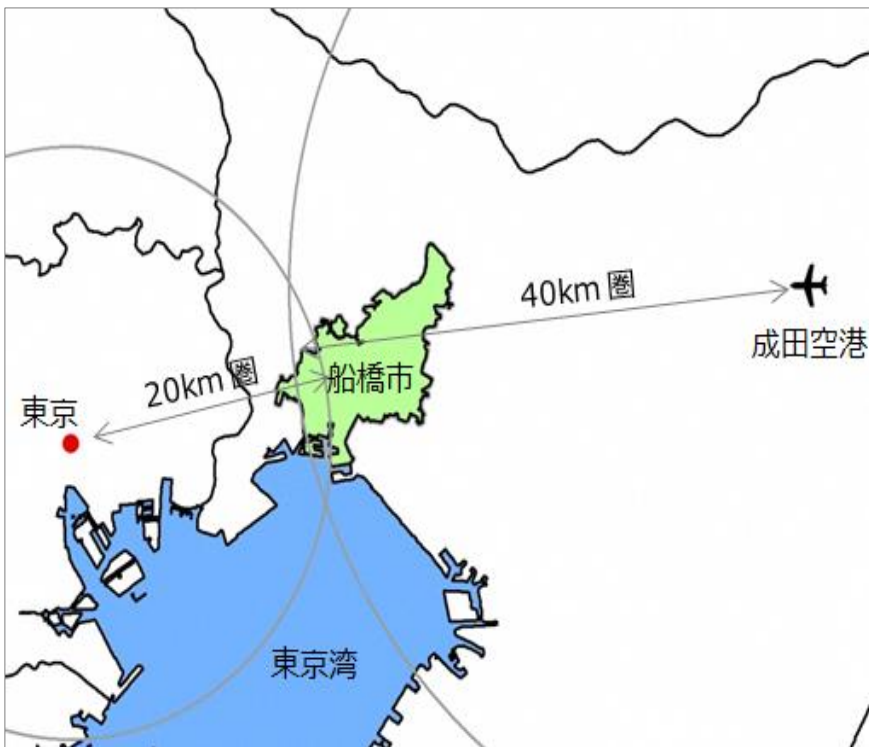
1 船橋市の特性

- (1) 地理的優位性
- (2) 充実した鉄道網を活かした生活
利便性の高い都市構造
- (3) 都心近郊にありながら、多様な自
然環境が残る
- (4) 堅調な人口増加、高い定住意向
- (5) 多彩な産業が発達
- (6) 船橋に根差す文化・スポーツ

(1) 地理的優位性

< 船橋市の位置 >

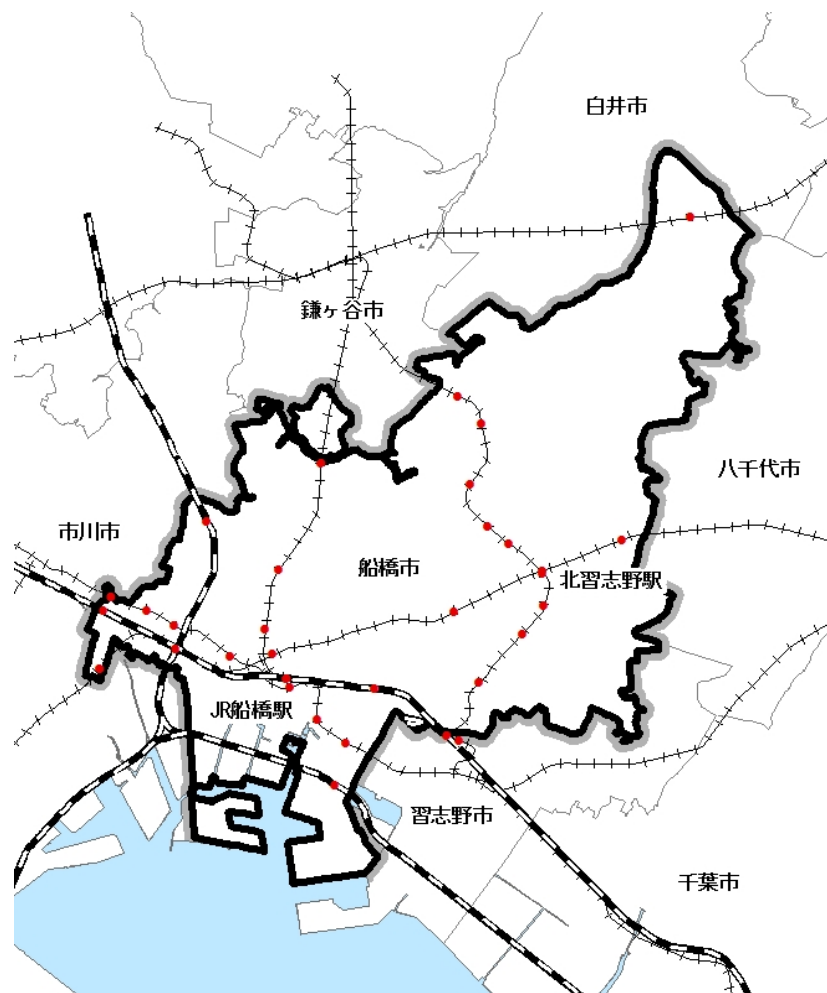
< 船橋市からの所要時間 >



出典: 船橋市資料

(2) 充実した鉄道網を活かした生活利便性の高い都市構造

<船橋市の鉄道網>

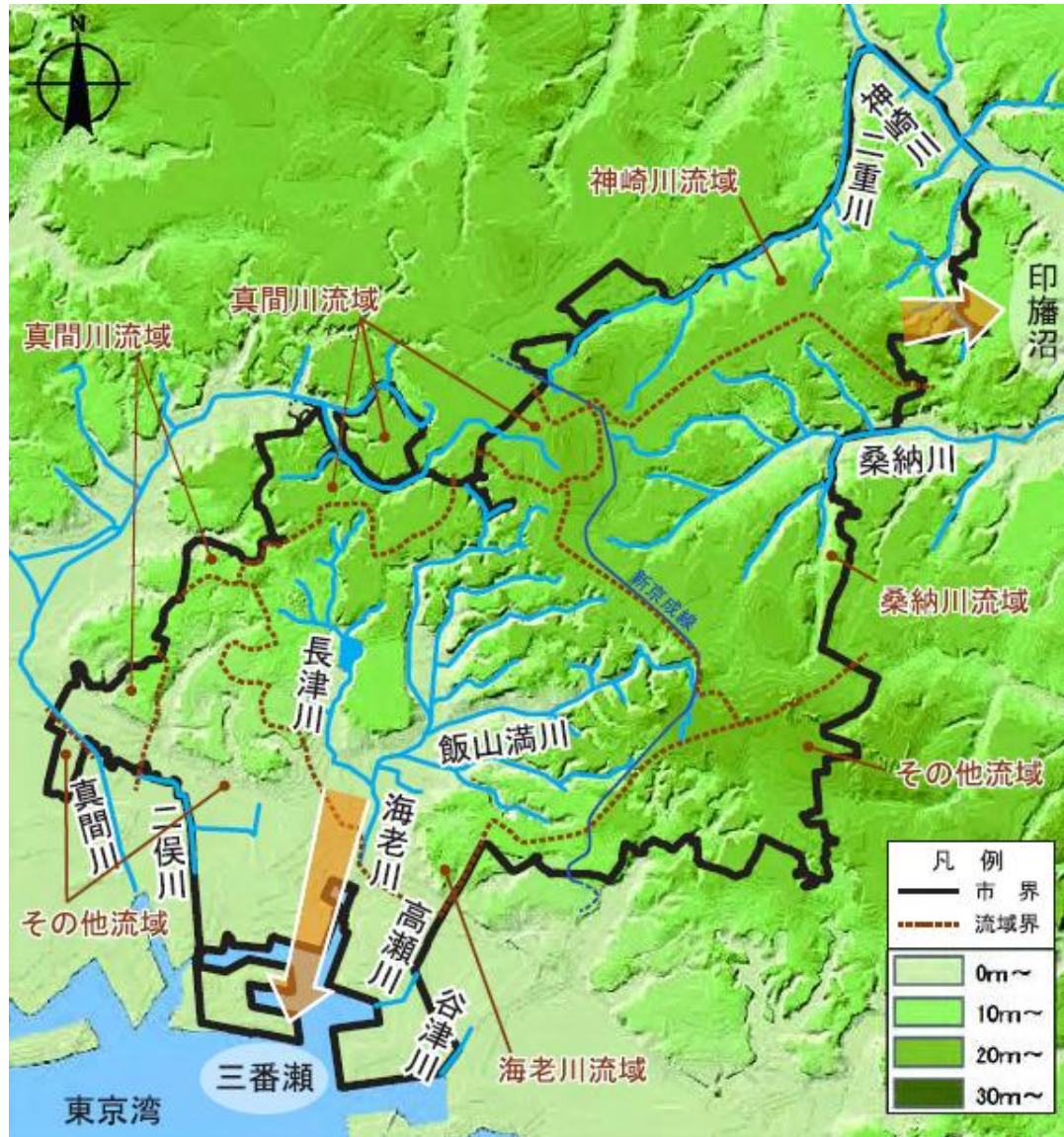


<近隣市の鉄道網>

市	路線	駅数
船橋市	9 路線	35 駅
市川市	7 路線	16 駅
柏市	3 路線	11 駅
松戸市	7 路線	24 駅

出典: 各市HPなど

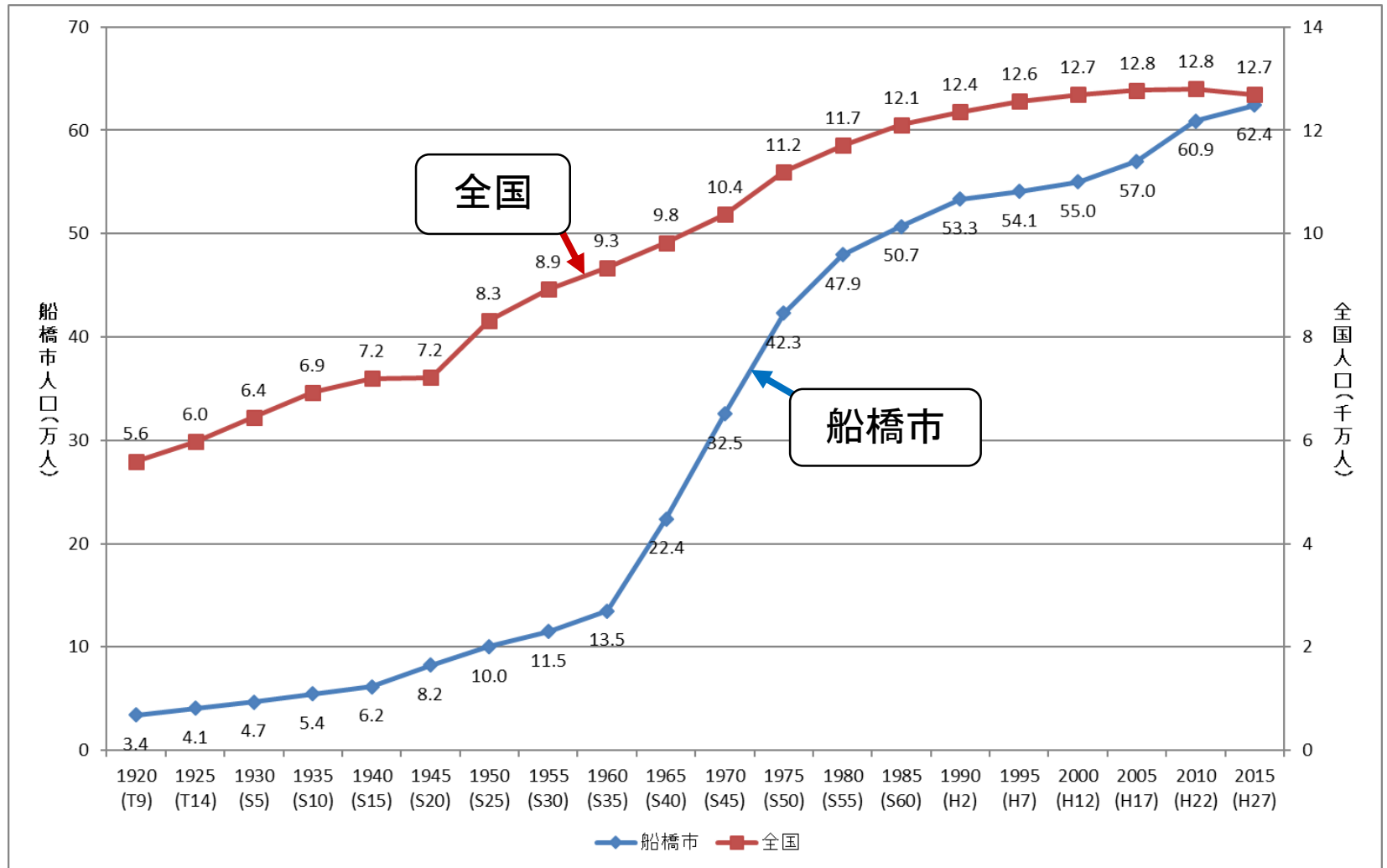
(3) 都心近郊にありながら、多様な自然環境が残る



出典：国土地理院ウェブサイト
船橋市資料

(4-1) 堅調な人口増加、高い定住意向

<全国・船橋市の人口の推移>

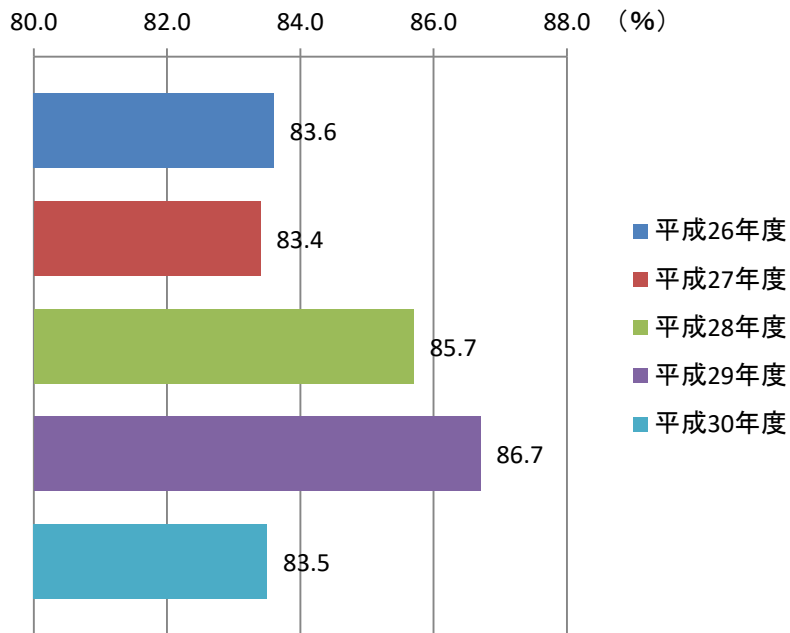


出典：船橋市人口ビジョン

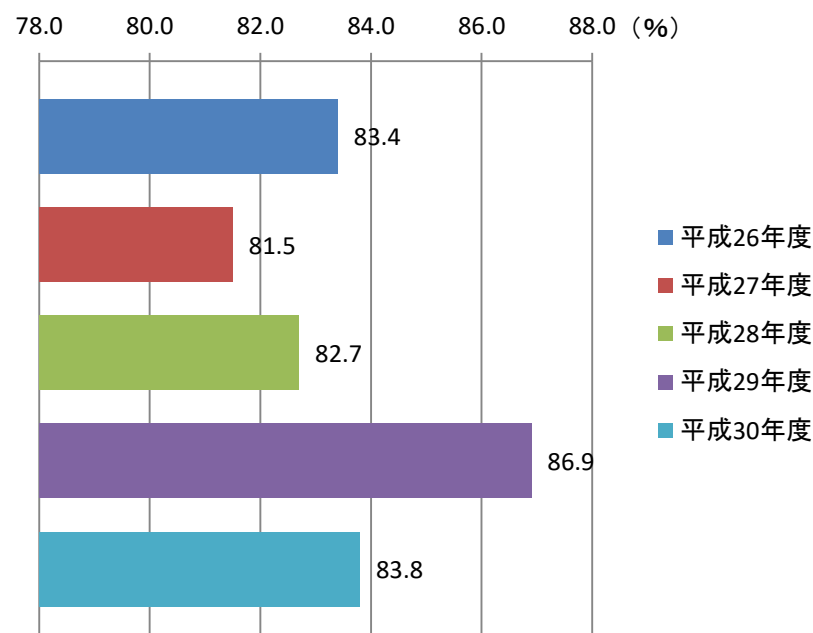
(4-2) 堅調な人口増加、高い定住意向

- 市民意識調査では、「住み続けたい」と「しばらく住み続けたい」を合わせた割合は8割以上となっている。
- また、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた割合も8割以上となっている。

<船橋市への定住意向>



<船橋市への愛着>



(5-1) 多彩な産業が発達

<全産業売上高・事業所数・従業者数(産業大分類別・平成28年度)>

産業大分類名		売上高 (単位:百万円)	事業所数 (単位:事業所)	従業者数 (単位:人)
第一次産業	A 農業, 林業	12,188	19	94
	B 漁業		4	34
第二次産業	C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	0
	D 建設業	309,540	1,347	11,409
	E 製造業	542,516	695	18,838
第三次産業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	X	9	605
	G 情報通信業	23,708	155	2,341
	H 運輸業, 郵便業	82,714	433	15,722
	I 卸売業, 小売業	707,018	3,879	40,436
	J 金融業, 保険業	5,497	257	4,827
	K 不動産業, 物品賃貸業	70,562	1,163	7,238
	L 学術研究, 専門・技術サービス業	20,774	638	3,536
	M 宿泊業, 飲食サービス業	30,558	2,211	21,156
	N 生活関連サービス業, 娯楽業	69,086	1,679	9,167
	O 教育, 学習支援業	22,823	632	6,618
	P 医療, 福祉	118,224	1,565	25,644
	Q 複合サービス事業	X	57	1,055
R サービス業(他に分類されないもの)	48,032	860	20,512	
合計		2,066,682	15,603	189,232

※Xは該当する企業数が少ないため秘匿処理したもの 出典:経済センサス

(6) 船橋に根差す文化・スポーツ

<取掛西貝塚位置図>



<1万年前の貝層と動物儀礼跡>

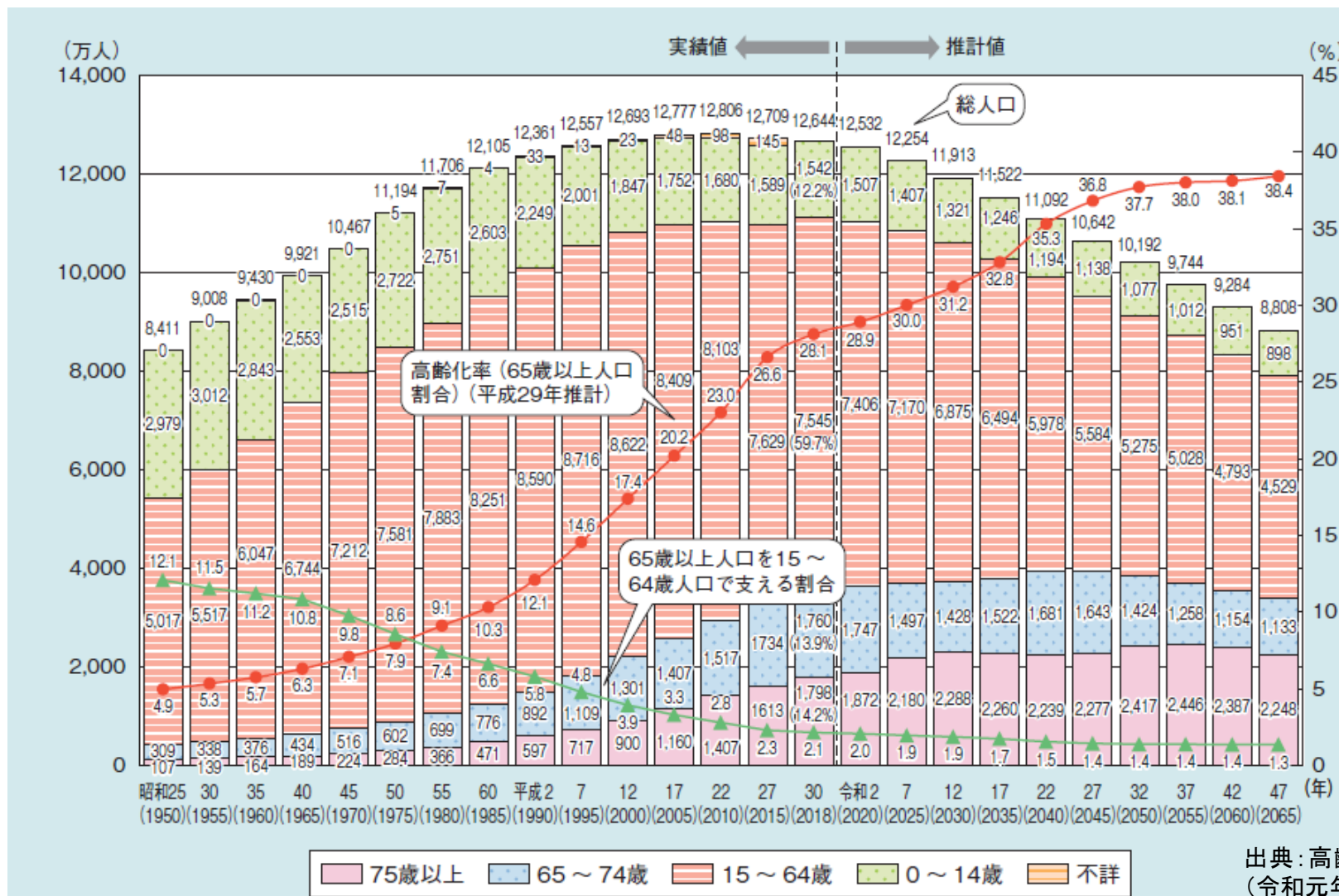


2 船橋市を取り巻く社会経済情勢

- (1)進む人口減少・少子高齢化**
- (2)広域道路ネットワークの整備**
- (3)自然災害のリスクの高まり**
- (4)先端技術の活用による新たな価値を
創出する社会の実現**
- (5)低炭素・循環型社会に向けた取組**
- (6)持続可能なまちづくりへの取組**

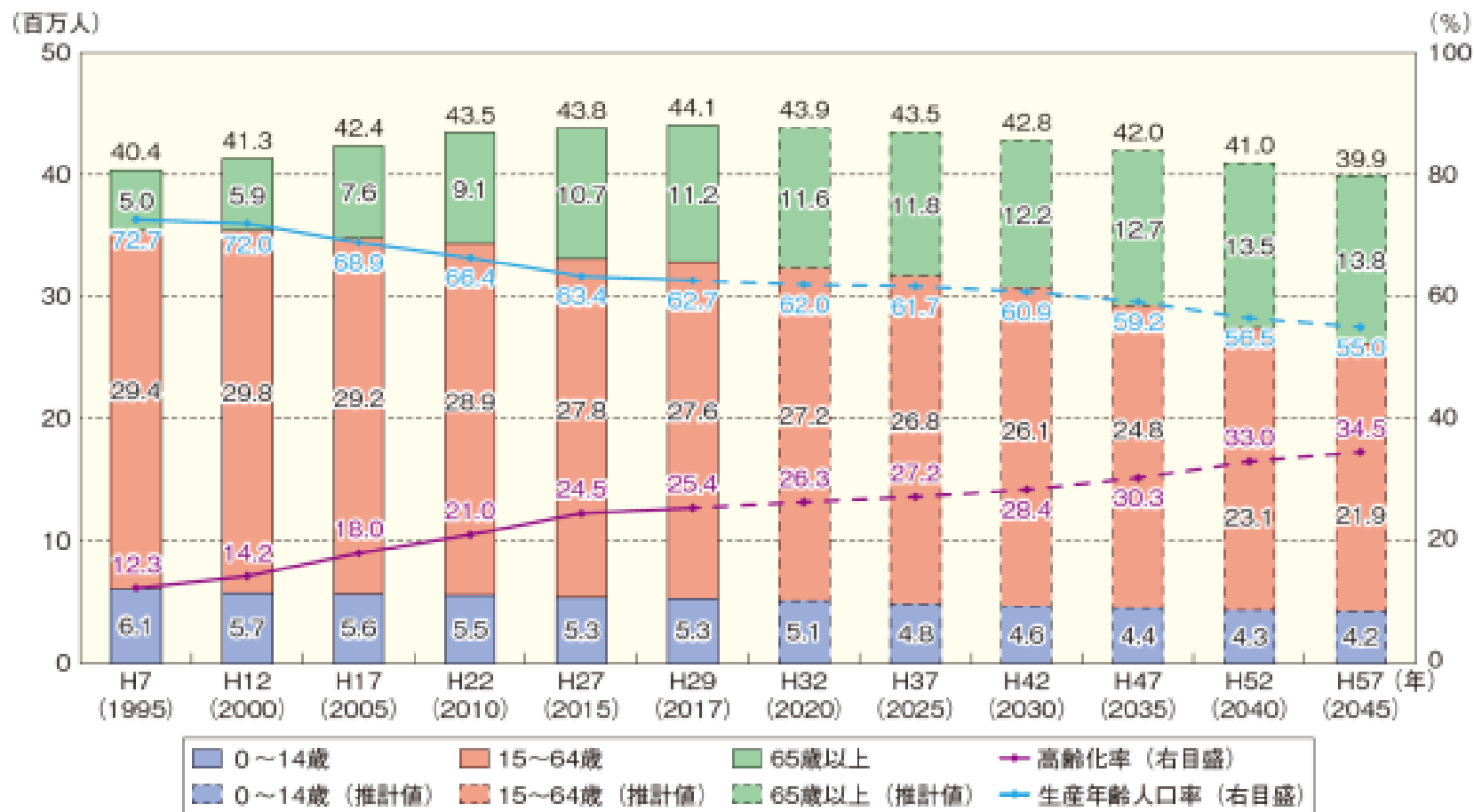
(1-1)進む人口減少・少子高齢化

<全国の人口推計>



(1-2)進む人口減少・少子高齢化

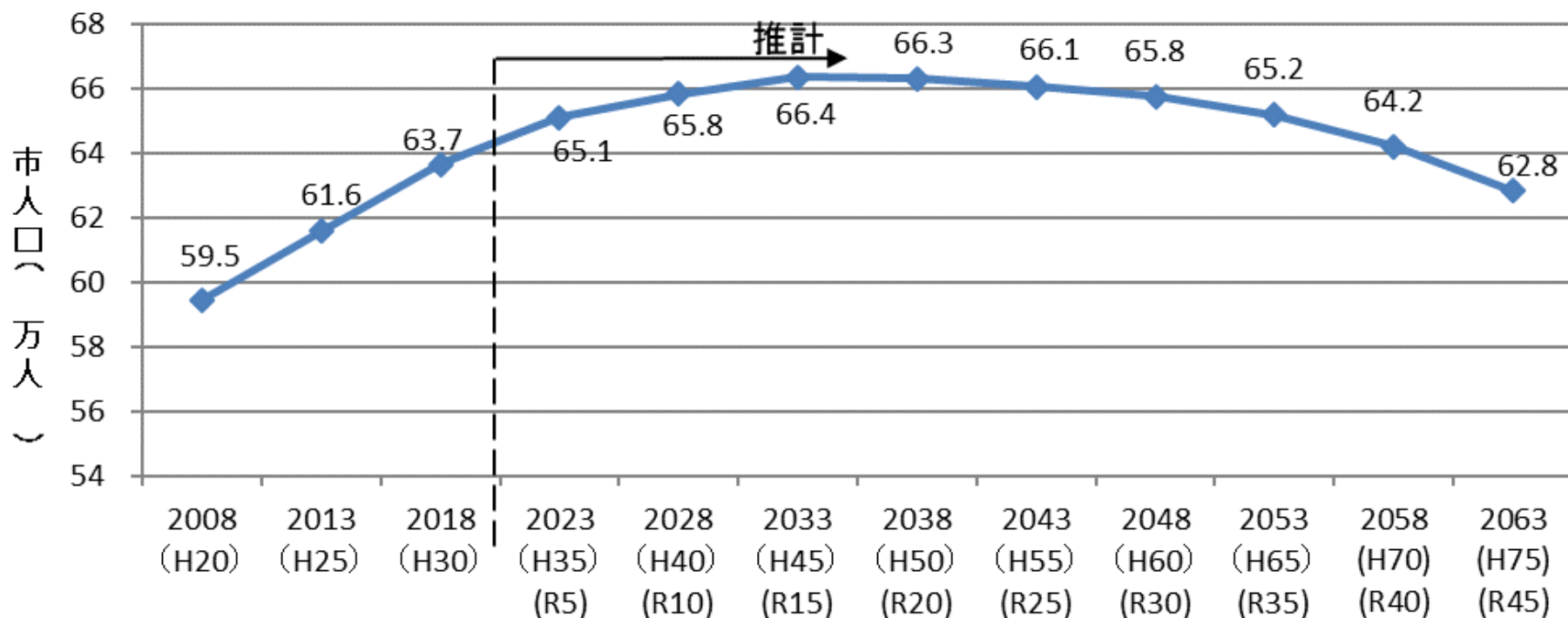
<首都圏の将来推計人口の動向>



出典：首都圏整備に関する
年次報告（平成29年度）

(1-3)進む人口減少・少子高齢化

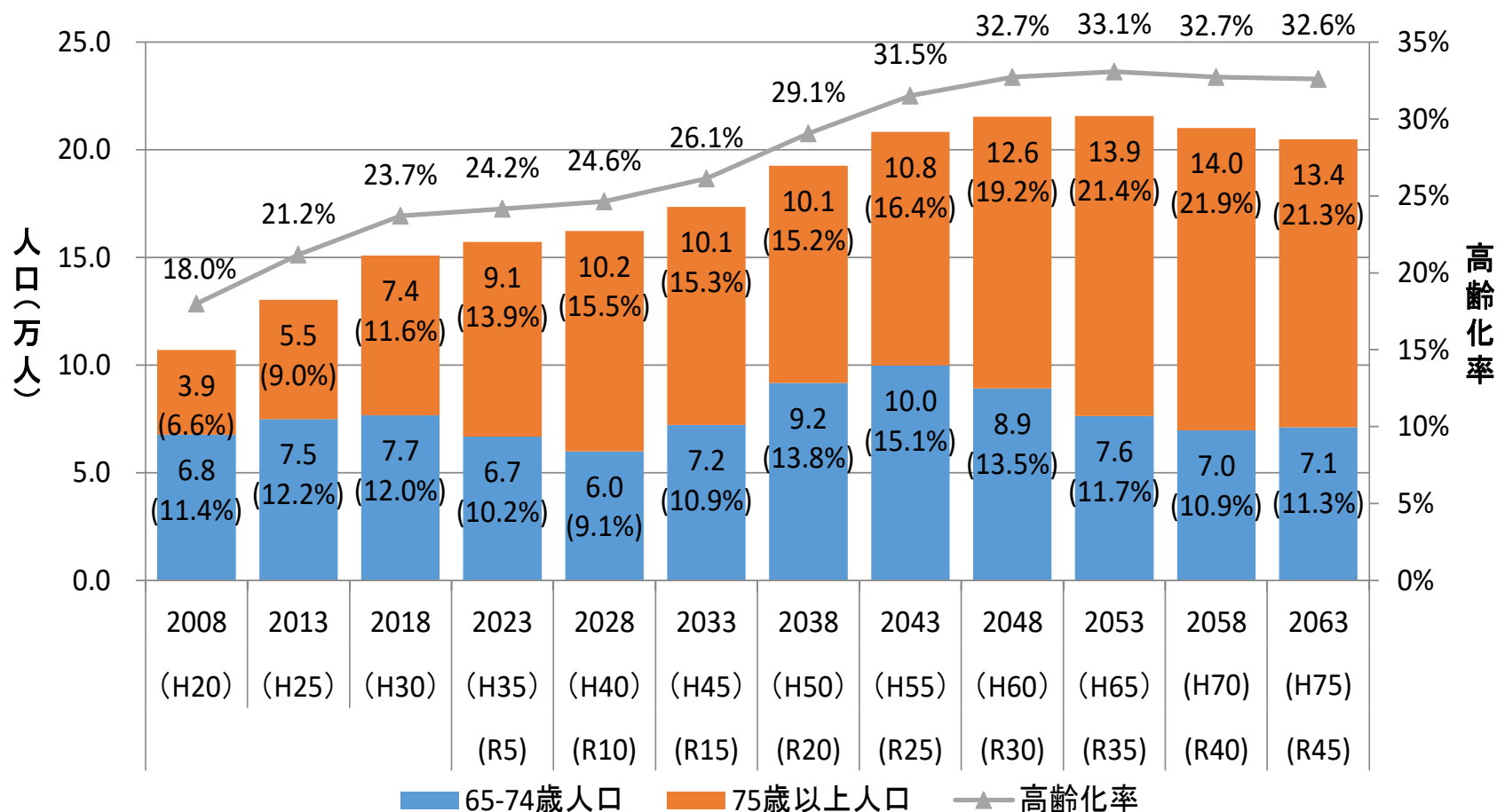
<船橋市の総人口の将来推計>



出典:船橋市人口推計調査報告書

(1-4)進む人口減少・少子高齢化

<船橋市の高齢者人口と高齢化率の将来推計>



出典：船橋市人口推計調査報告書

(2) 広域道路ネットワークの整備

<東京外かく環状道路の計画図>



出典: 国土交通省関東地方整備局資料

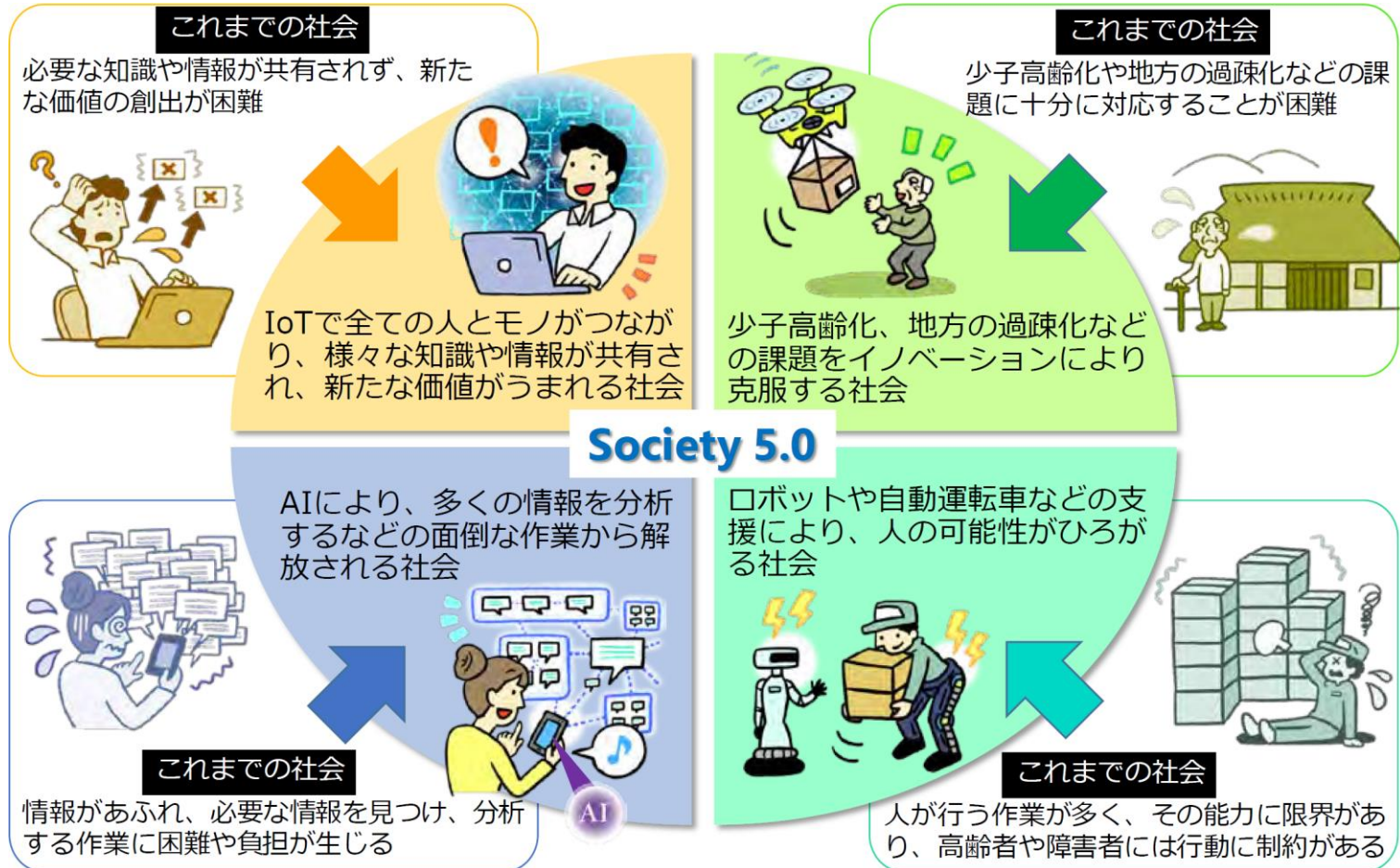
<北千葉道路の概要図>



出典: 国土交通省関東地方整備局資料

(4)先端技術の活用による新たな価値を創出する社会の実現

<Society5.0で実現する社会>



(6) 持続可能なまちづくりへの取組

<SDGs(持続可能な開発目標)17の目標>

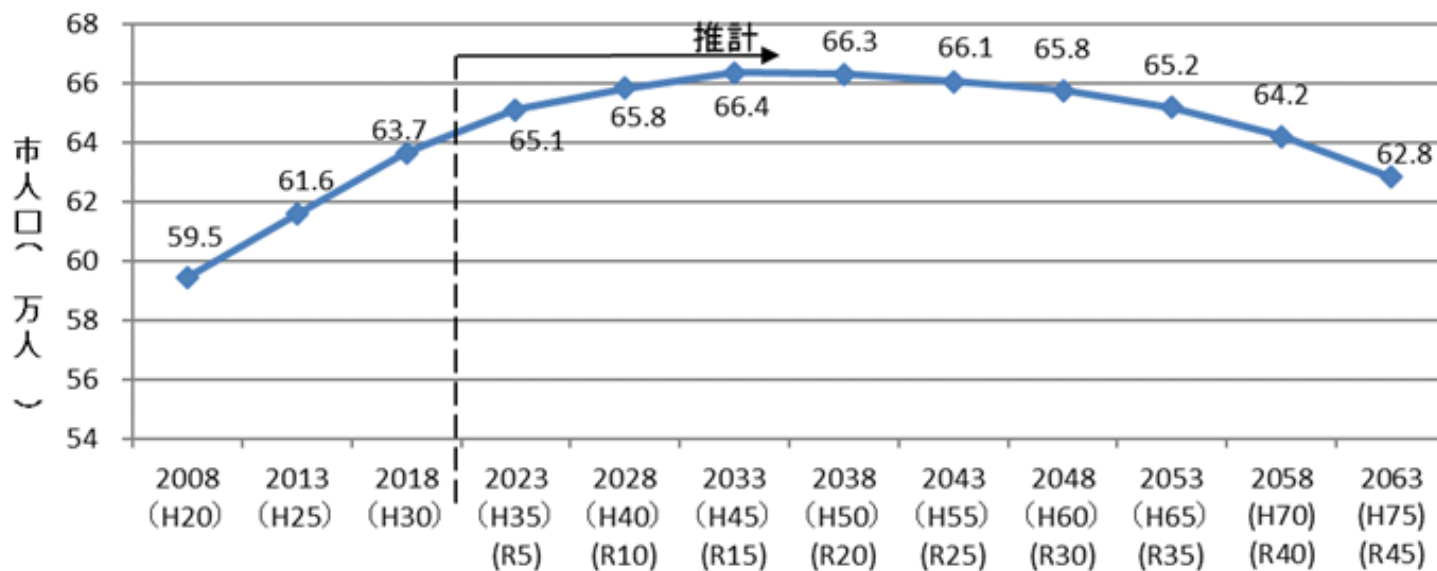


3 船橋市の発展の可能性

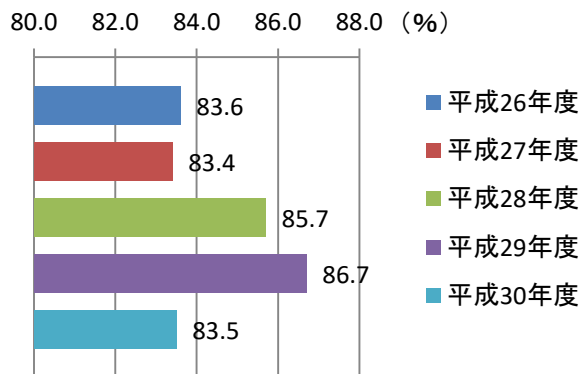
- (1) 増加する人口、まちを支える市民の力**
- (2) 高まる健康意識**
- (3) さらなる産業発展の期待**
- (4) 新たな魅力を創出するまちづくり**

(1) 増加する人口、まちを支える市民の力

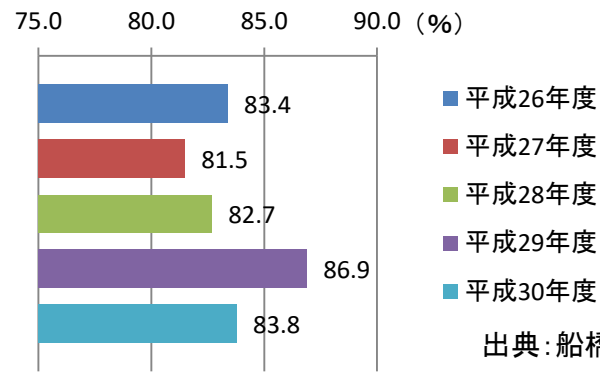
<船橋市の総人口の将来推計> (再掲)



<船橋市への定住意向> (再掲)



<船橋市への愛着> (再掲)



出典: 船橋市市民意識調査

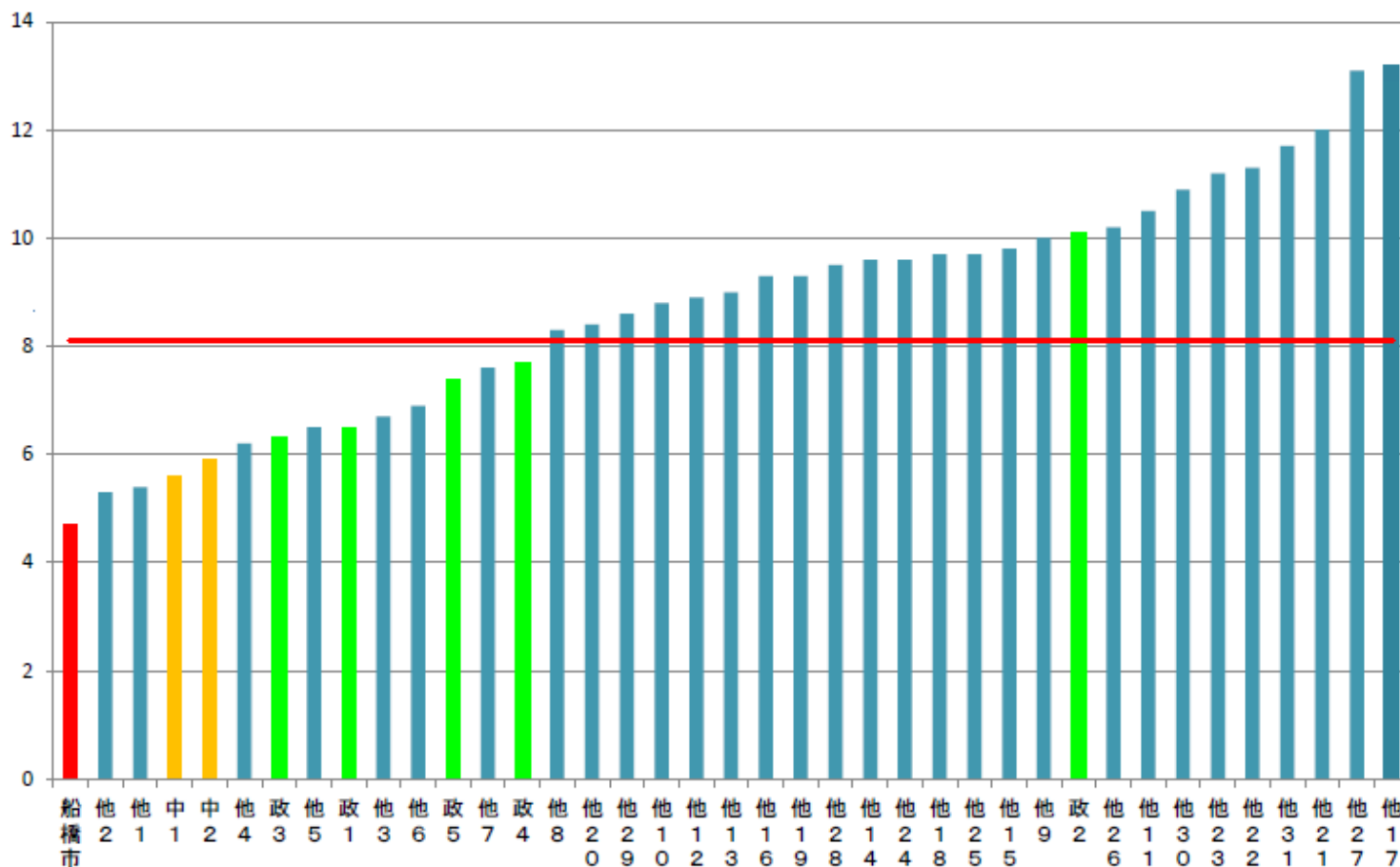
(2-1) 高まる健康意識

- JAGESプロジェクトは、健康長寿社会を目指した予防政策の科学的な基盤づくりを目標とした研究プロジェクト。
- JAGESによる健康とくらしの調査(2016年度)には、全国の39の市町村が参加し、20万人の高齢者を対象にした調査を行った。
- 下記の5項目を含め、運動器に関わる部分について良い結果が出ている。
 - ◎運動機能低下者の割合は最も少ない(第1位)
 - 虚弱者の割合は少ない(第2位)
 - 1年間の転倒ありの割合は少ない(第2位)
 - 要介護リスク者割合は少ない(第3位)
 - 認知症リスク者は少ない(第2位)

(2-2)高まる健康意識

運動機能低下者割合

船橋市 順位1位



以下5項目のうち3項目以上あてはまる人の割合

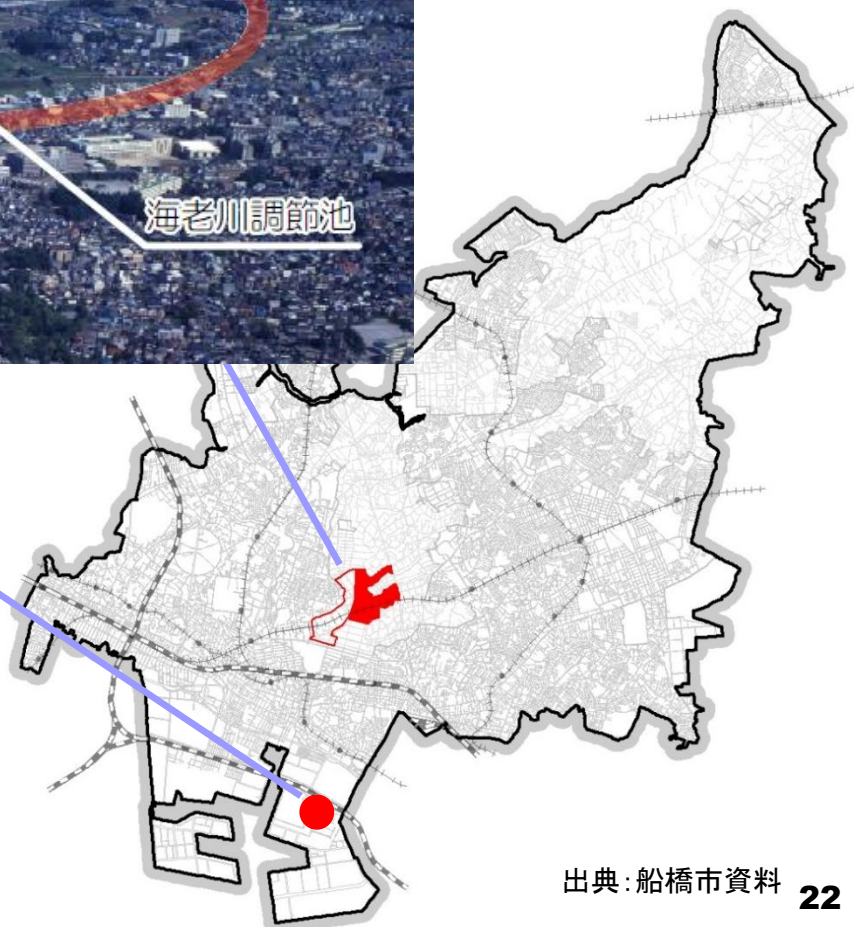
- ①階段を手すりつたわず昇ることができない
- ②椅子からつかまらず立つことができない
- ③15分位続けて歩くことができない
- ④過去1年で転んだ経験が1度または何度もある
- ⑤転倒に対して不安である

(4-1) 新たな魅力を創出するまちづくり

海老川上流地区のまちづくり

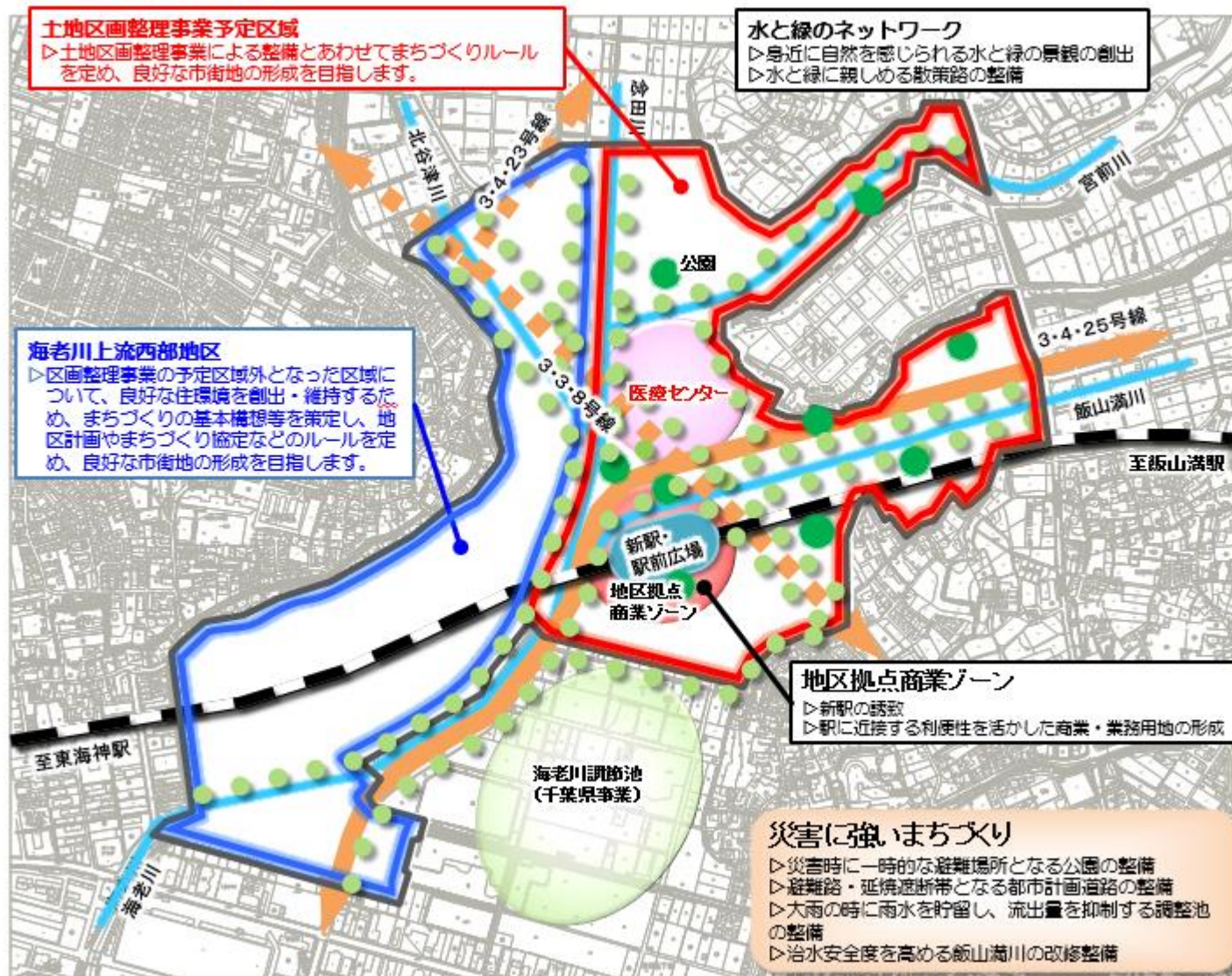


J R南船橋駅前のまちづくり



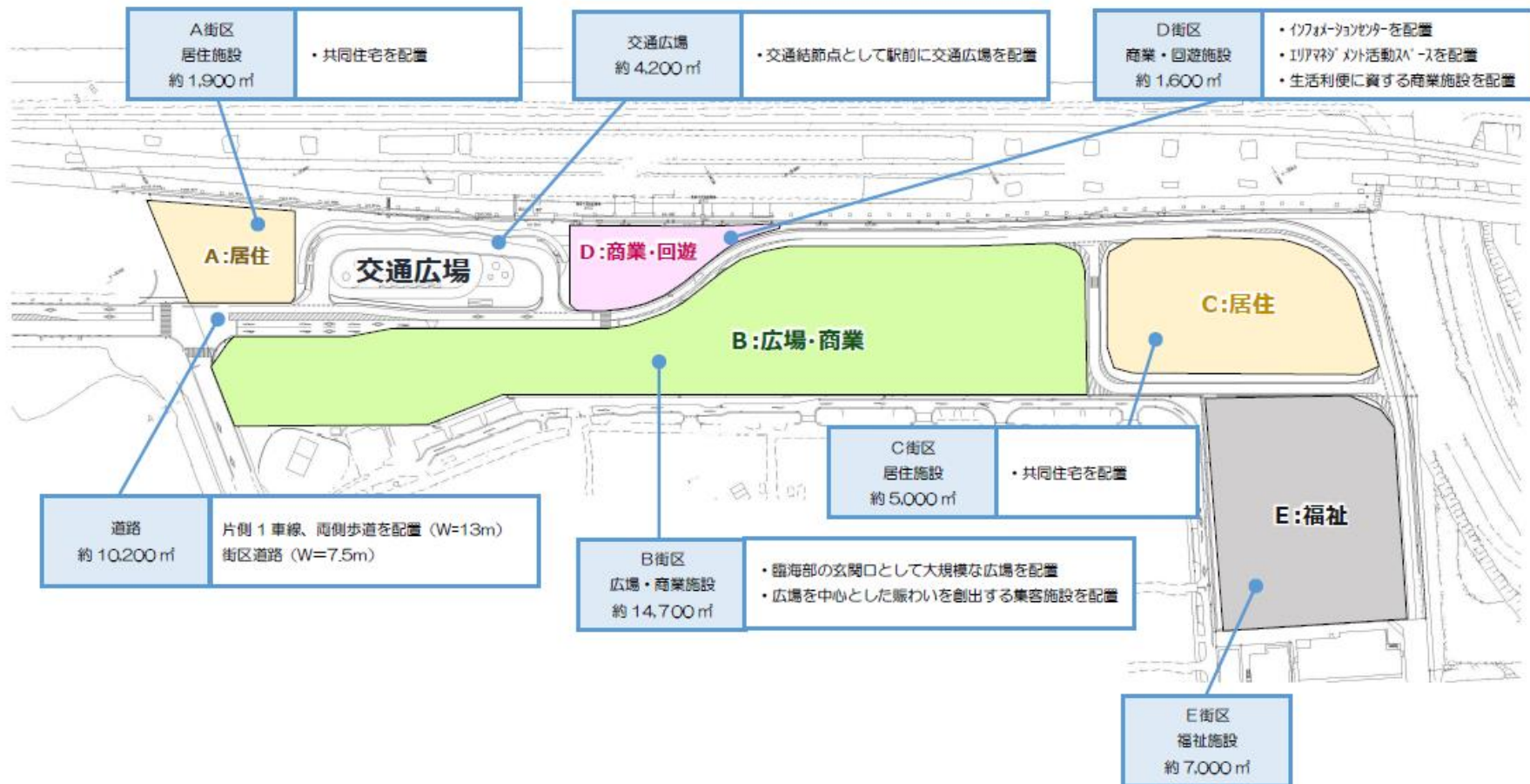
(4-2) 新たな魅力を創出するまちづくり

<海老川上流地区まちづくり方針図(案)>



(4-3) 新たな魅力を創出するまちづくり

<JR南船橋駅南口市有地の土地利用計画(案)>



出典：船橋市資料

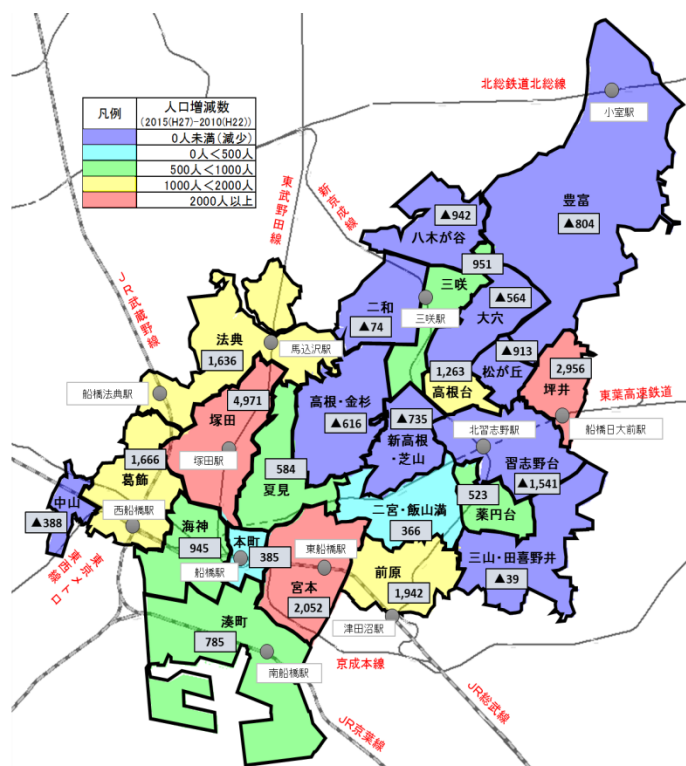
4 船橋市が抱える重点課題

- (1) 複雑多様化する地域課題への対応**
- (2) より安全・安心に暮らせる都市基盤の整備**
- (3) 子どもを安心して産み育てられる環境の整備**
- (4) 超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの構築**
- (5) 持続可能な行財政運営に向けた取組**

(1-1) 複雑多様化する地域課題への対応

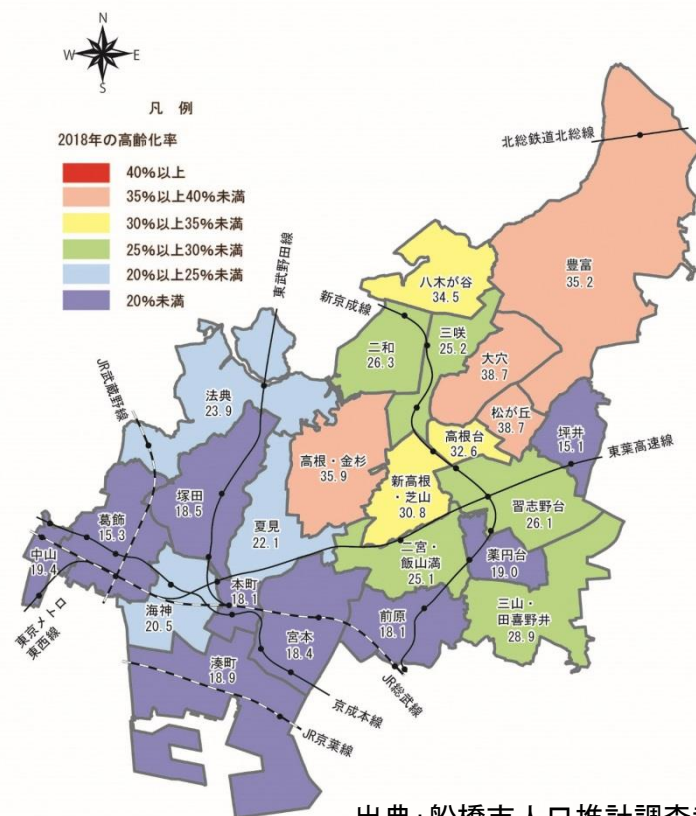
- 転入超過が続く西部・南部地域、人口減少及び高齢化が急速に進む東部・中部・北部地域と人口動態の2極化が進行している。

<船橋市人口増減指数>



出典：船橋市人口ビジョン

<船橋市高齢化率>

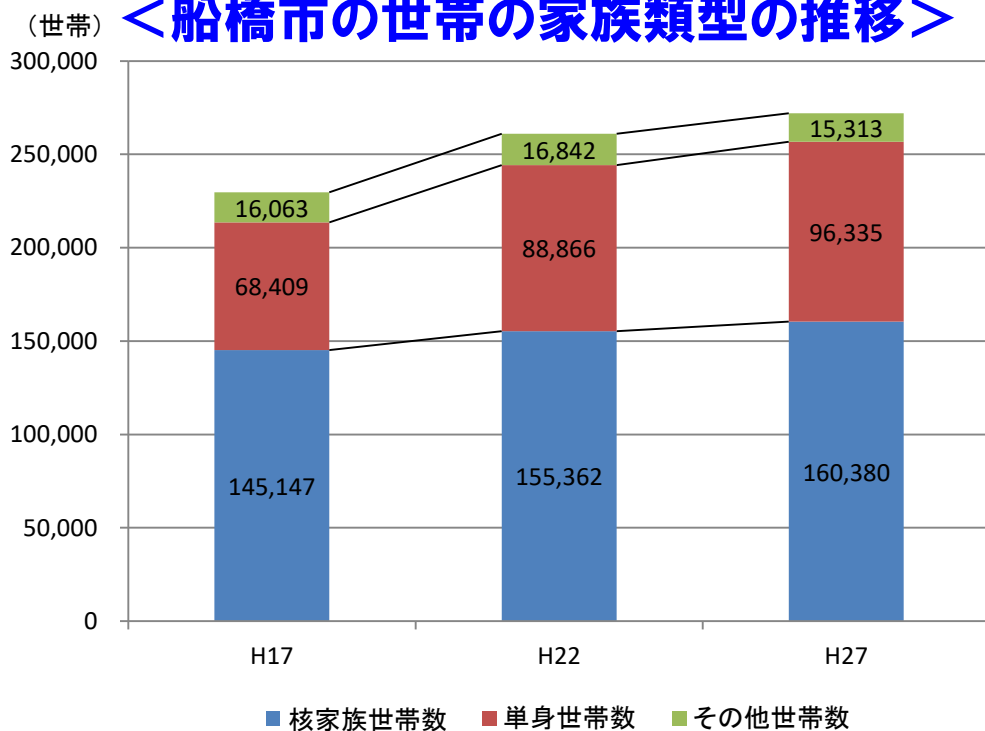


出典：船橋市人口推計調査報告書 26

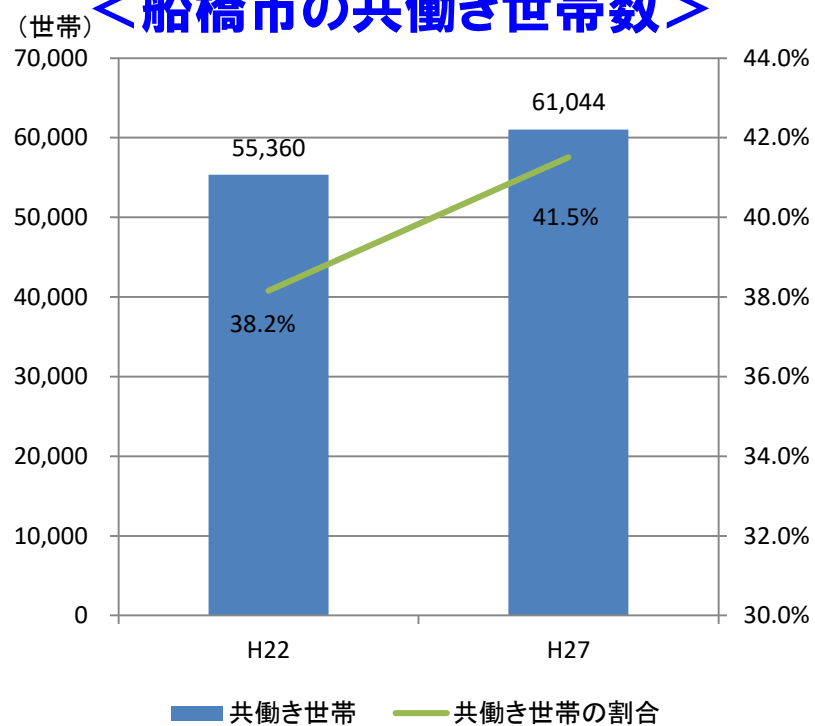
(1-2) 複雑多様化する地域課題への対応

- 核家族世帯、単身世帯、共働き世帯ともに増加している。
- 共働き世帯は、平成22年から平成27年の5年間で6,000世帯ほど増加しており、一般世帯における共働き世帯の割合は40%を超えている。

<船橋市の世帯の家族類型の推移>



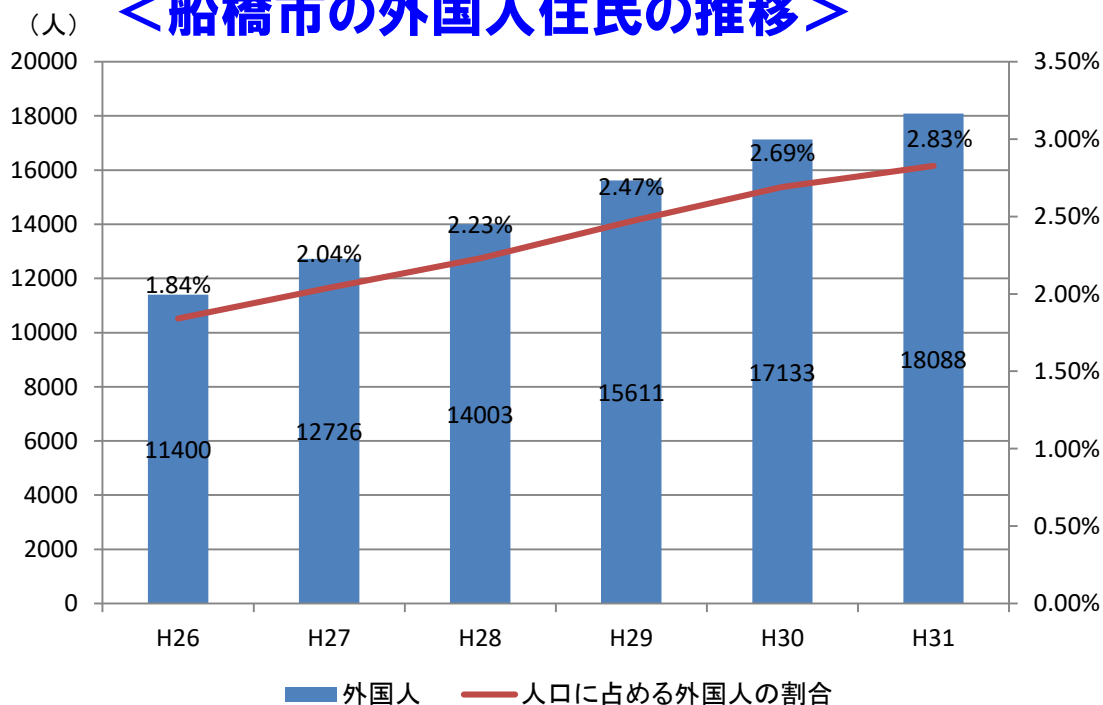
<船橋市の共働き世帯数>



(1-3) 複雑多様化する地域課題への対応

- 外国人住民は近年増加しており、平成26年から平成31年にかけて、1.6倍となっている。
- 住民基本台帳人口は平成30年4月1日から平成31年4月1日にかけて、3,473人増加しているが、そのうちの955人が外国人住民である。

<船橋市の外国人住民の推移>



平成26年→平成31年の比較

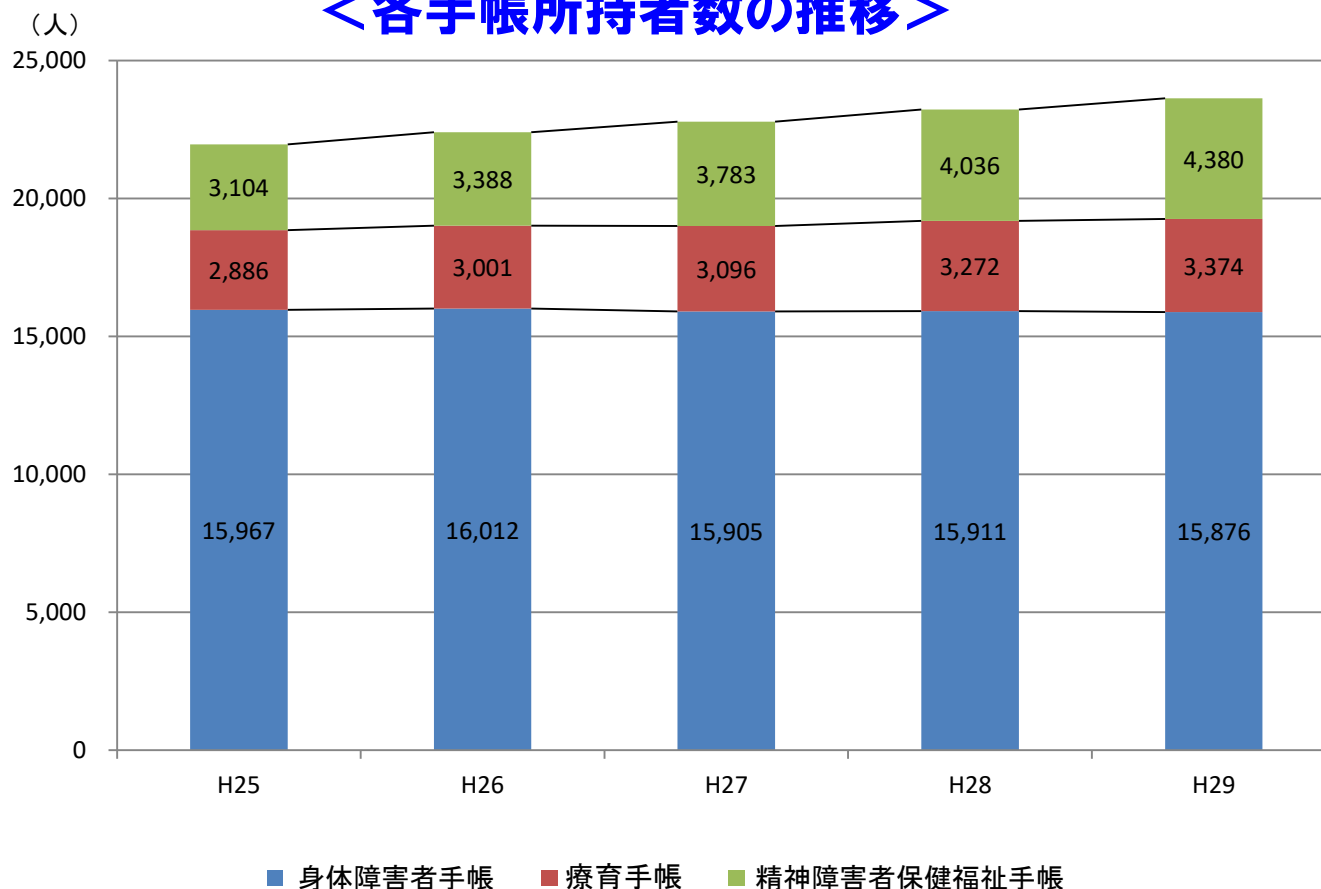
	5年間の増減数	5年間の増減率
日本人	12,935人	102%
外国人	6,688人	159%

	平成30年	平成31年	増加数
日本人	619,406人	621,924人	2,518人
外国人	17,133人	18,088人	955人

(1-4) 複雑多様化する地域課題への対応

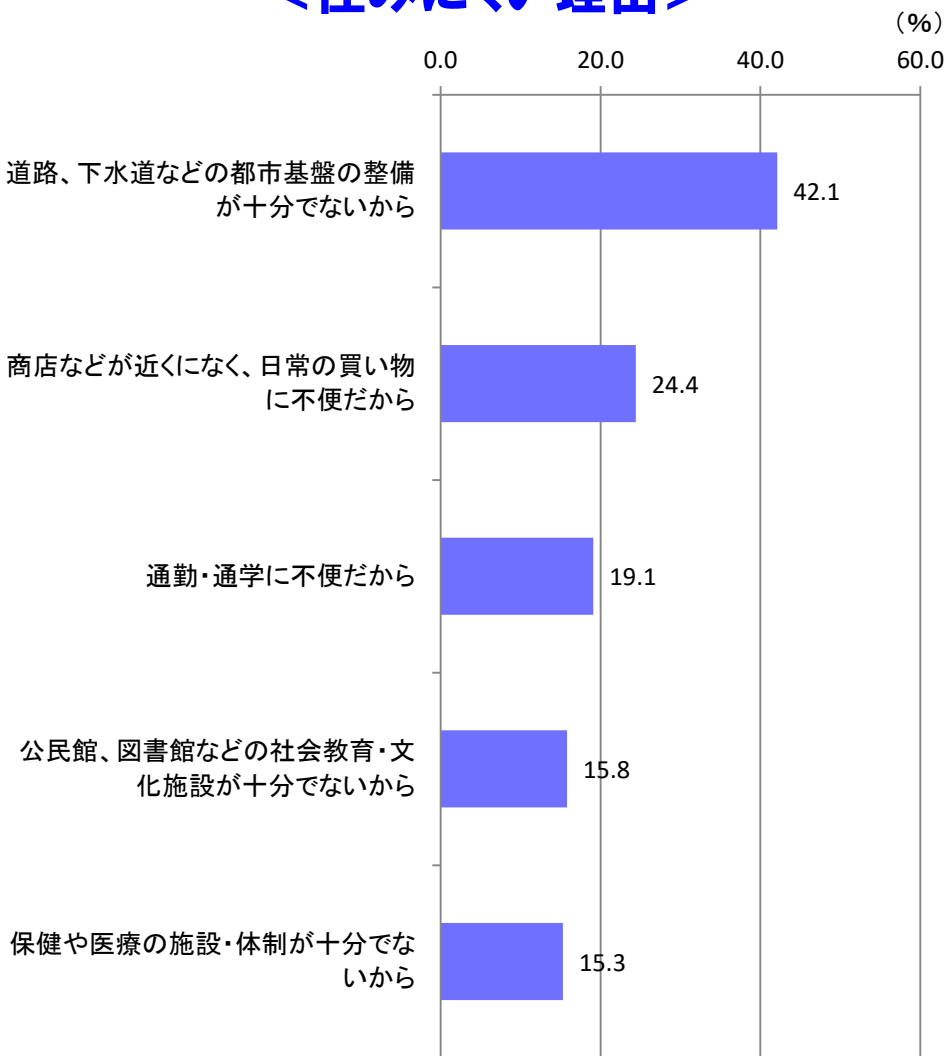
- 身体障害者手帳の所持者数は横ばいで推移しているが、療育手帳、精神障害保健福祉手帳の所持者数は増加している。

＜各手帳所持者数の推移＞

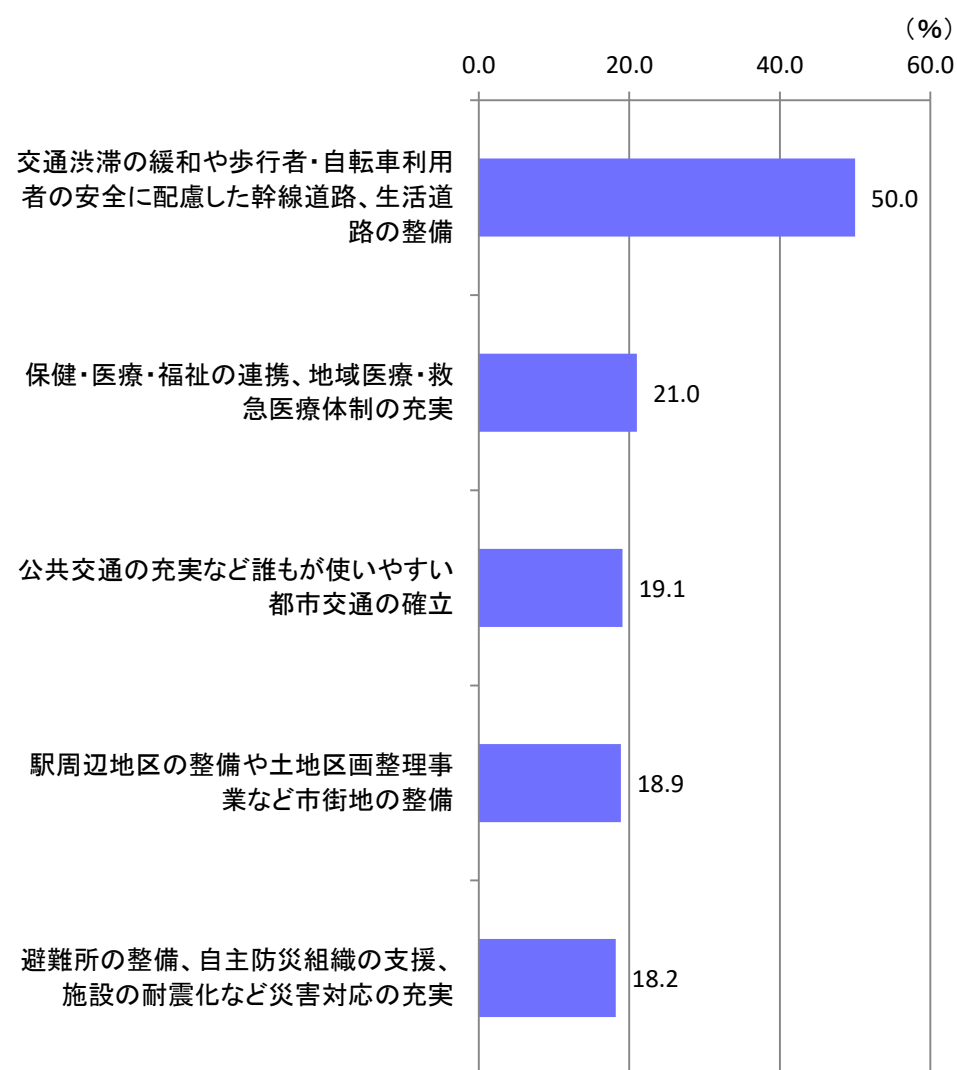


(2)より安全・安心に暮らせる都市基盤の整備

<住みにくい理由>



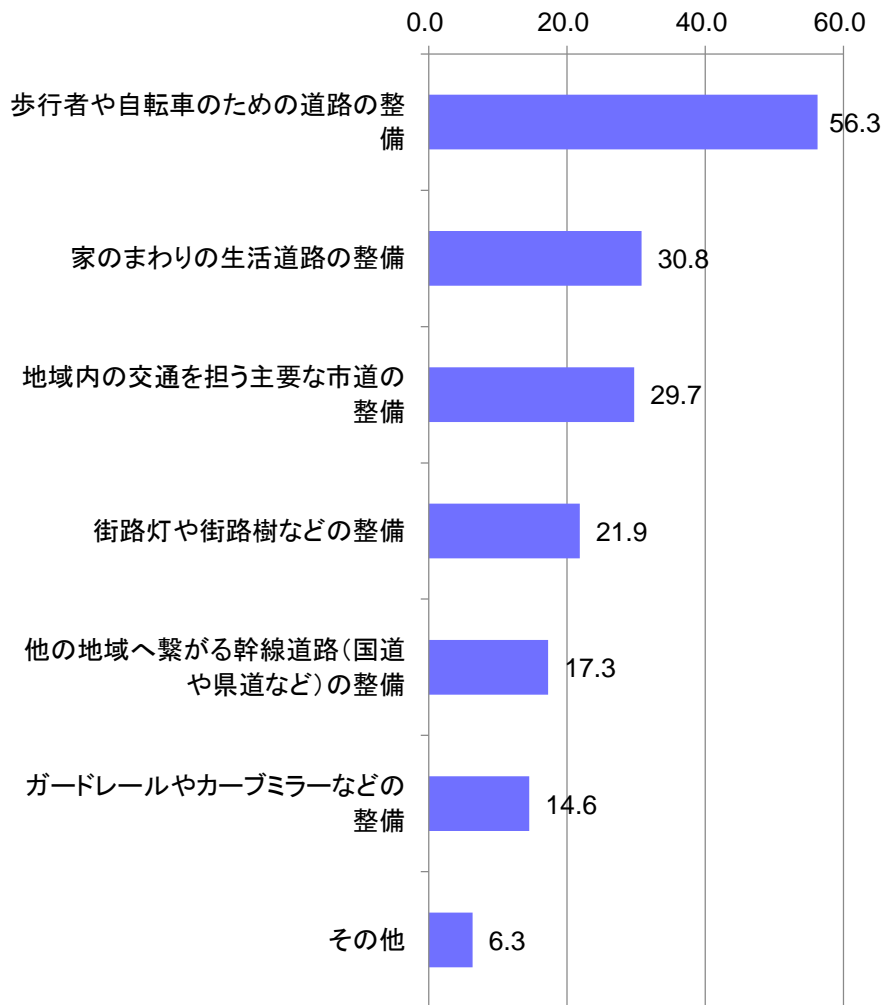
<力をいれるべき施策>



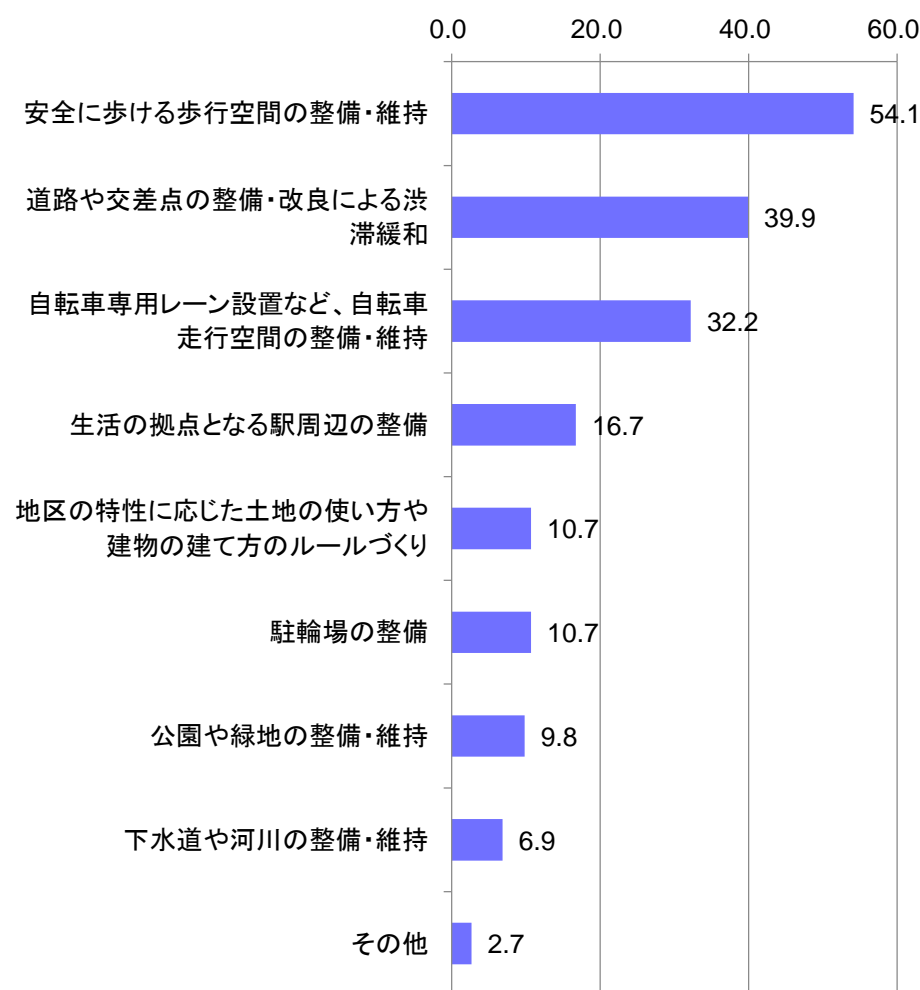
(2)より安全・安心に暮らせる都市基盤の整備

<今後特に力を入れてほしい取り組み>

お住まいの地域の道路整備状況 (%)



都市基盤整備 (%)

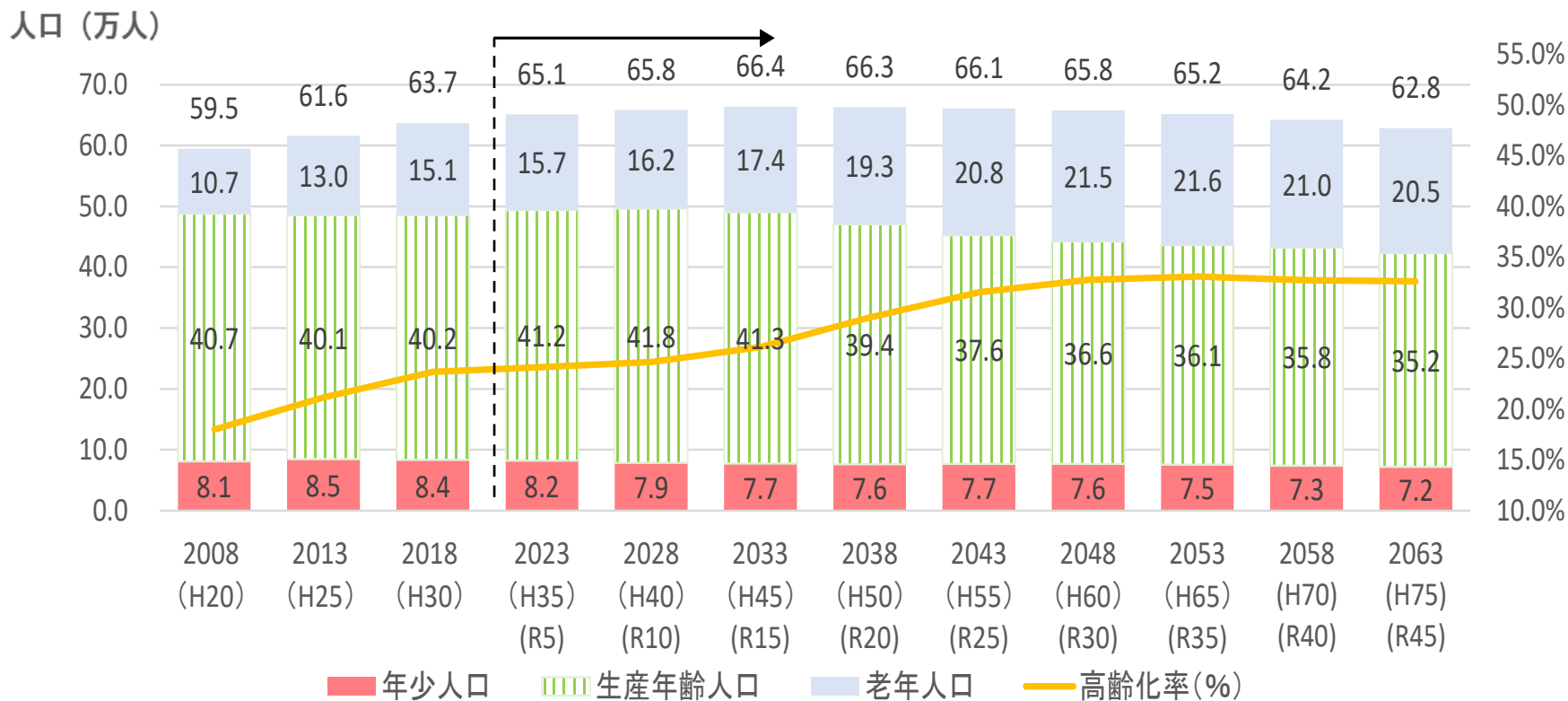


出典：船橋市の新しいまちづくりに向けた市民アンケート調査報告書

(3-1)子どもを安心して産み育てられる環境の整備

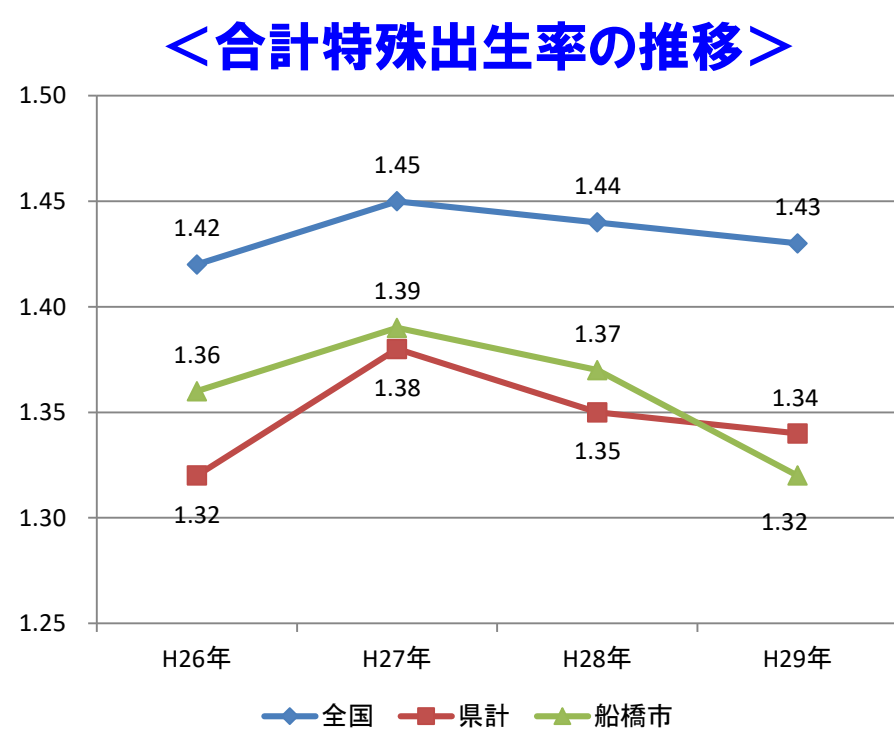
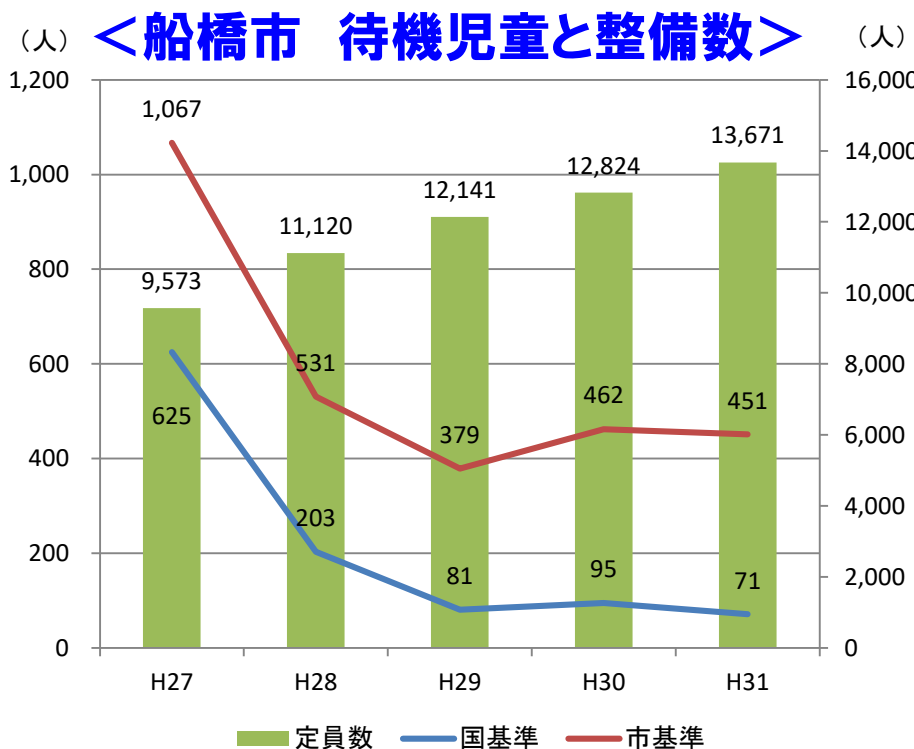
- 年少人口(15歳未満の人口)はすでに減少局面に入っており、今後も減少傾向で推移する見込みである。

<年齢3区分別人口の将来推計>



(3-2)子どもを安心して産み育てられる環境の整備

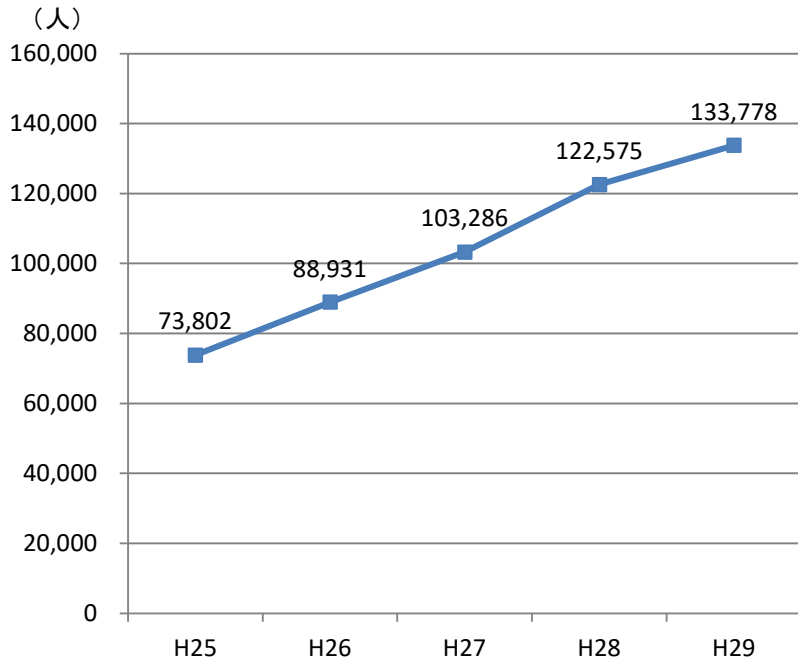
- 平成27年4月1日時点の待機児童数が全国2位となっってから、計画的に整備を進め、待機児童は減少している。
- 合計特殊出生率は全国平均、千葉県平均ともに下回っており、近年低下傾向にある。



(3-3)子どもを安心して産み育てられる環境の整備

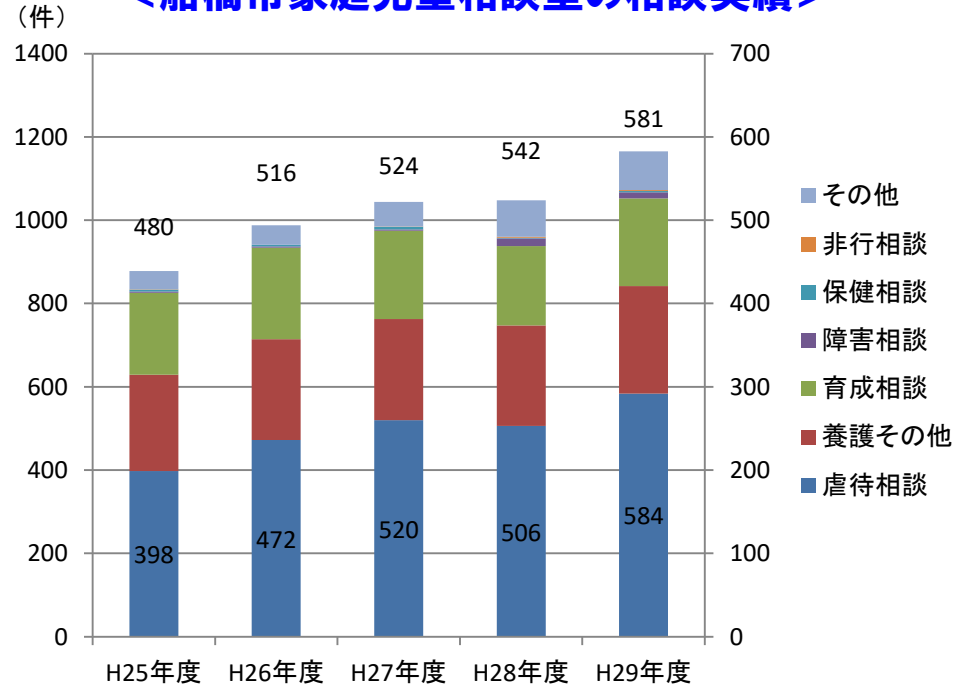
- 全国の児童相談所(210カ所)が児童虐待相談として対応した件数は133,778件で過去最多となった。
- 船橋市家庭児童相談室への相談件数も年々増加しており、虐待相談の件数は78件増加した。

<全国児童相談所児童虐待相談対応件数>



出典:厚生労働省 福祉行政報告例

<船橋市家庭児童相談室の相談実績>

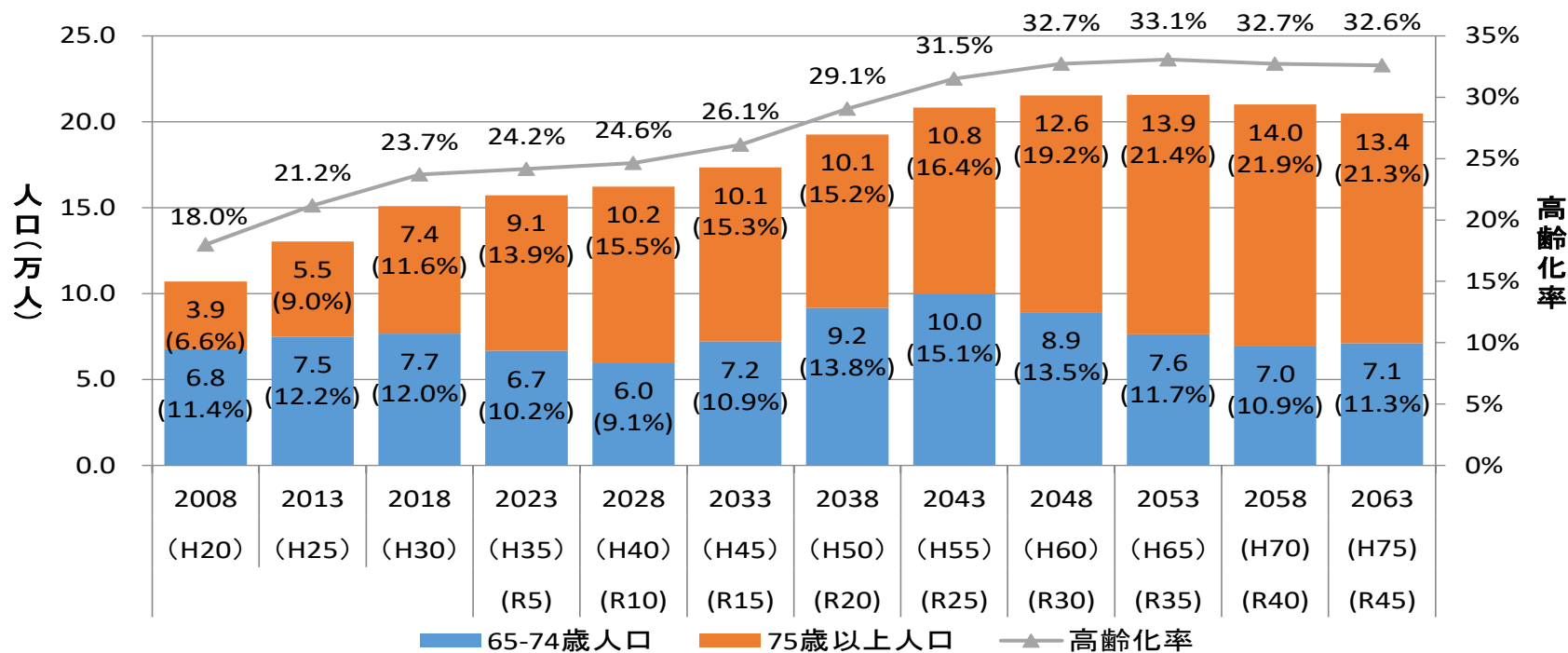


出典:船橋市 資料

(4-1) 超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの構築

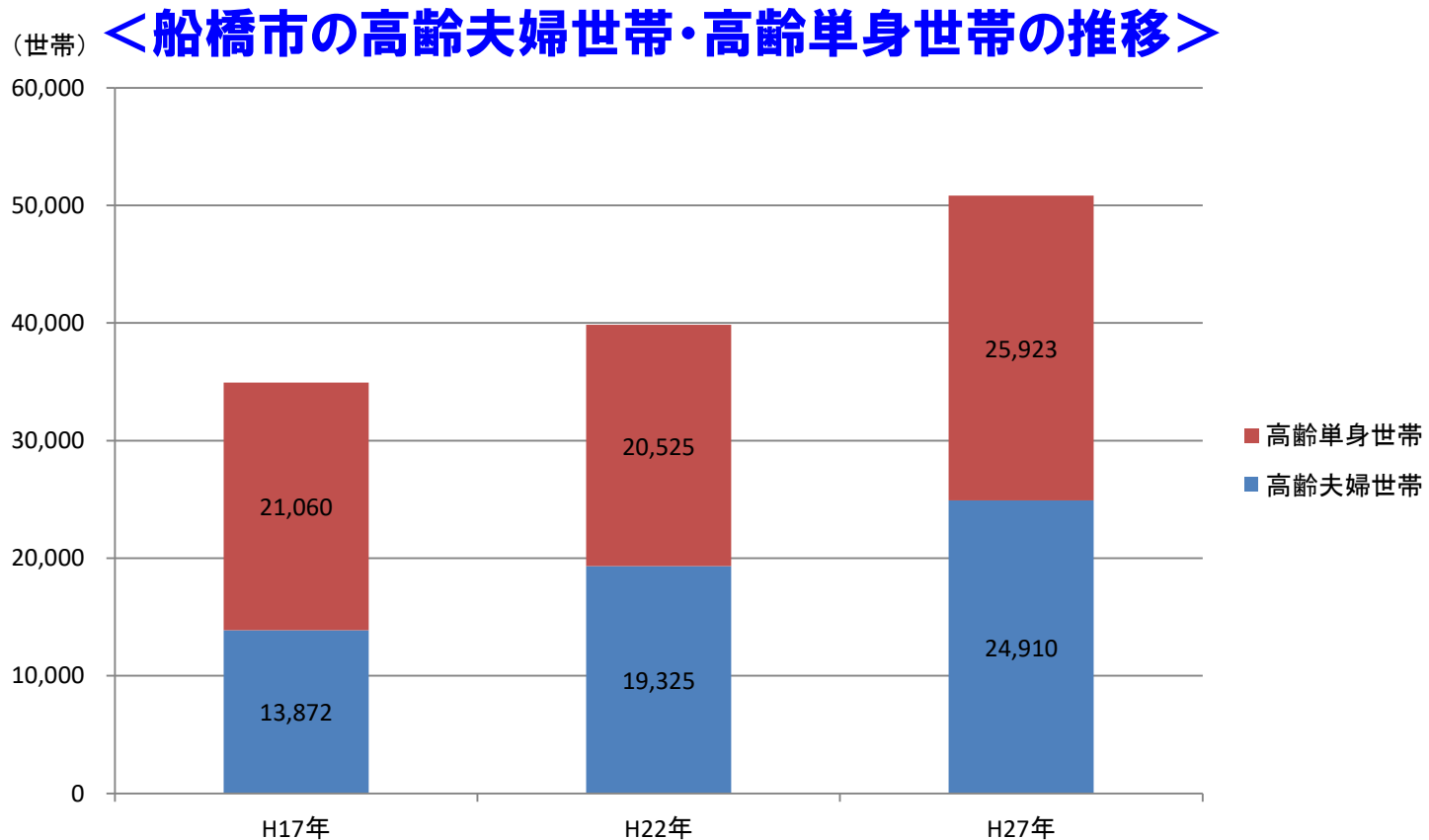
- 75歳以上の人口で見ると、平成30年の7.4万人(構成比11.6%)から、団塊の世代の高齢化を受け、令和10年の10.2万人(同15.5%)まで急増する見込みである。

＜高齢者人口と高齢化率の将来推計＞(再掲)



(4-2) 超高齢社会に対応した地域包括ケアシステムの構築

- 平成17年から平成27年までの10年間で高齢夫婦世帯は11,038世帯、単身世帯は4,863世帯増加している。

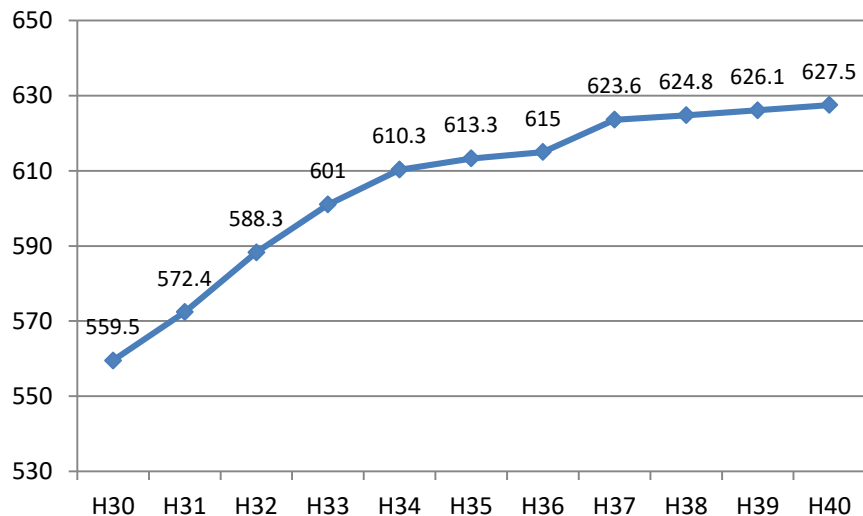


出典: 国勢調査

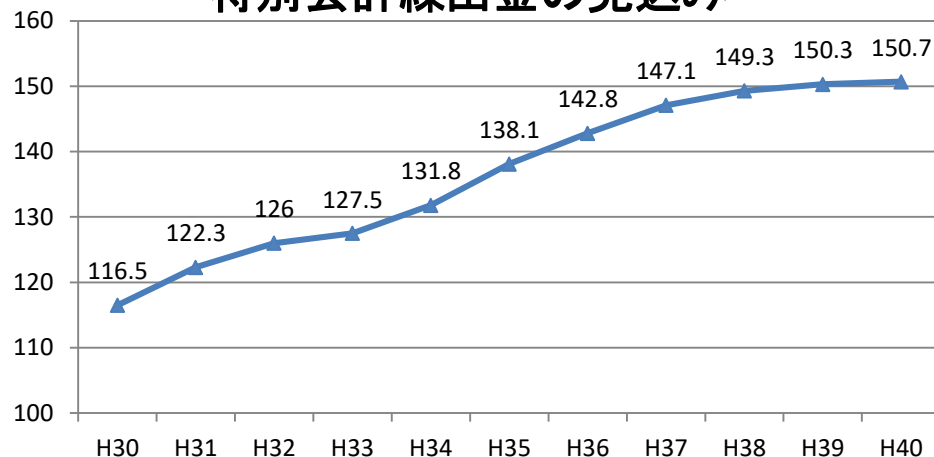
(5-1) 持続可能な行財政運営に向けた取組

- 今後、扶助費や介護医療等に係る経費の増加や市債の償還(公債費)の本格化が見込まれ、財政の硬直化が深刻となることが予測される。

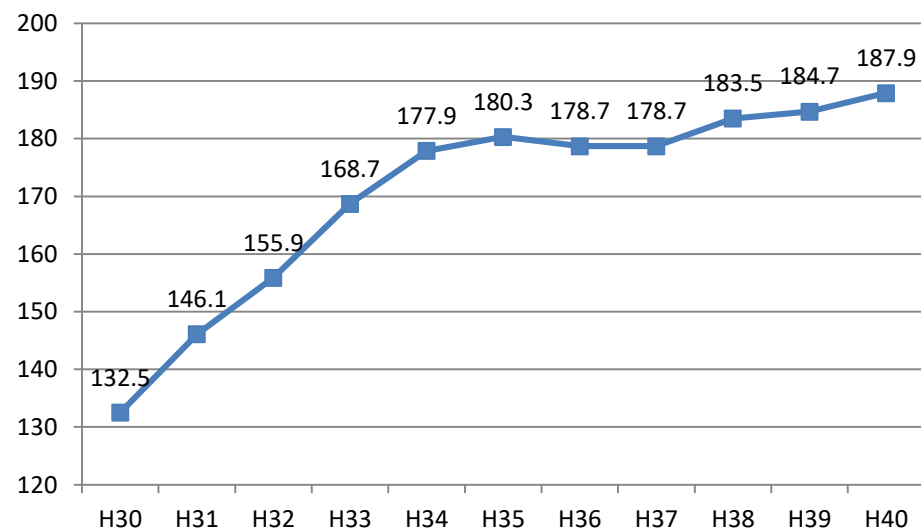
扶助費の見込み



介護保険・後期高齢者医療事業 特別会計繰出金の見込み



公債費の見込み



(5-2) 持続可能な行財政運営に向けた取組

建築年別建物施設整備量

